

款	土木費	項	道路橋梁費
---	-----	---	-------

事業名	橋梁耐震対策・長寿命化修繕事業 (継続)
-----	----------------------

担当	建設部 道路建設課
----	--------------

(単位：千円)

予算額		600,025	リーディング プロジェクト	4	安心な市民生活を支える災害に強いまちづくり
財 源 内 訳	国県支出金	327,528	基本目標	4	全ての市民が安心して暮らせるまちづくり
	地方債	236,300			
	その他		政策方針	1	時代の変化に対応した防災のまちづくり
一般財源	36,197				
全体事業費		600,025	事業期間	令和6年度	

事業の目的

橋梁の耐震性の向上を図り、災害時における緊急輸送道路等を確保するとともに、長寿命化修繕計画に基づき、計画的かつ予防的な修繕を行うことで道路交通の安全性を確保します。

事業の概要

【これまでの経緯】
耐震化予定の橋梁33橋のうち、26橋について落橋防止等を施工しました。
また、長寿命化修繕計画に基づき、28橋について修繕工事を施工しました。

【今年度事業内容】
(単位：千円)

事業概要	事業費
真鍋1号橋（浅間台高架橋）耐震・長寿命化設計委託	23,056
備前川22号橋（小松橋）耐震・長寿命化設計委託	9,086
長寿命化修繕計画（見直し）策定委託	12,001
東真鍋1号橋（木田余立体橋）耐震・長寿命化工事	75,933
神立小学校前歩道橋長寿命化工事	20,592
日立建機前歩道橋長寿命化工事	20,130
常磐線3号橋（二番橋）架替JR工事委託外	439,227
合計	600,025

【今後の予定】
令和9年度までに、31橋の耐震化及び1橋の撤去工事並びに36橋の修繕工事を計画しています。



国道六号7号橋 耐震対策実施

期待される効果・成果目標等

計画的に橋梁の耐震補強及び予防的な修繕を実施することにより、橋梁の長寿命化を図るとともに、予算の平準化と維持管理費用の削減を行い、将来にわたって道路交通の安全性と信頼を確保します。
※令和5年度末進捗率（予定）
耐震対策事業 78.8%（26／33）、長寿命化修繕事業 11.7%（28／240）

款	土木費	項	道路橋梁費
---	-----	---	-------

事業名	道路新設改良事業	(継続)
-----	----------	------

担当	建設部 道路建設課
----	--------------

(単位：千円)

予算額	400,000	リーディング プロジェクト	—
財源内訳	国県支出金	50,000	基本目標 8 効率的な行財政運営による持続可能なまちづくり
	地方債	45,000	
	その他		政策方針 2 魅力的な都市環境・住環境の創出
	一般財源	305,000	
全体事業費	400,000	事業期間	令和6年度

事業の目的

幹線道路（Ⅰ、Ⅱ級幹線）の拡幅改良工事、歩道整備、生活道路及び狭隘な市道の改良工事、舗装工事及び交通安全施設工事を計画的に進め、道路機能の向上と市全体の道路網確立を図ります。

事業の概要

【これまでの経緯】

道路延長（令和4年度末現在） L = 1,534,803m（6,966路線）
うち改良延長 L = 748,115m（改良率48.89%）

【今年度事業内容】

(単位：千円)

区分	概要	事業費
道路改良工事費	19路線 L = 1,855m	226,855
測量設計委託料	11路線 L = 2,405m	38,275
公有財産購入費	17路線	33,470
物件移転補償費	17路線	85,000
役務費	鑑定料、登記料	13,090
事務費等		3,310
合計		400,000



整備前



整備後

市道今泉22号線 整備状況

【今後の予定】

住みよいまちの実現の基礎となる生活道路の整備を計画的に進めていきます。

期待される効果・成果目標等

日常生活の利便性向上及び地域環境の改善を図るとともに、歩行者と自転車の安全を確保し、交通事故の防止に寄与します。
また、緊急車両等の通行を可能にし、市民の安全を確保します。

款	土木費	項	河川費
---	-----	---	-----

事業名	都市下水路整備事業／小規模排水路整備事業（継続）
-----	--------------------------

担当	建設部 下水道課
----	-------------

(単位：千円)

予算額		89,500	リーディング プロジェクト	—
財 源 内 訳	国県支出金	39,794	基本目標	4 全ての市民が安心して暮らせるまちづくり
	地方債			
	その他		政策方針	5 激甚化する水害に対応するまちづくり
	一般財源	49,706		
全体事業費		89,500	事業期間	令和6年度

事業の目的

都市下水路や小規模排水路を計画的に整備することにより、雨水を速やかに排除し、豪雨による道路冠水等を解消するとともに、生活環境の改善を図ります。

事業の概要

◎都市下水路整備事業

【これまでの経緯】

平成22年度から、西根竹の入都市下水路整備工事を実施しています。
令和5年度に荒川沖都市下水路の基本設計委託を実施しました。

【今年度事業内容】

- ・西根竹の入都市下水路整備工事 L = 50m
※特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用します。
- ・荒川沖都市下水路実施設計委託

【今後の予定】

西根竹の入都市下水路については、引き続き特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用し、年次計画により整備します。

荒川沖都市下水路については、次年度以降整備を予定しています。

◎小規模排水路整備事業

【これまでの経緯】

田中三丁目・虫掛地内小規模排水路整備工事を実施しました。

【今年度事業内容】

- ・虫掛地内小規模排水路整備工事 L = 100m
- ・田中三丁目地内小規模排水路整備工事 L = 90m

【今後の予定】

引き続き、浸水対策の一環として整備を行っていきます。



西根竹の入都市下水路整備状況

期待される効果・成果目標等

大雨による浸水被害が減少し、市民の生活環境の向上に寄与します。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

事業名	地域公共交通確保維持改善事業 (継続)	担当	都市政策部 都市計画課
-----	---------------------	----	----------------

(単位：千円)

予算額	83,687	リーディングプロジェクト	3 暮らしやすさ、働きやすさが人を呼ぶまちづくり
財源内訳	国県支出金	基本目標	8 効率的な行財政運営による持続可能なまちづくり
	地方債		政策方針
	その他	事業期間	
	一般財源	83,687	
全体事業費	83,687		

事業の目的

地域公共交通計画に基づき、「利用者が地区特性に応じた公共交通で快適に移動できるまち」の実現に向けた取り組みを推進します。

事業の概要

【これまでの経緯】

- ・令和4年3月 土浦市地域公共交通計画策定（計画期間：令和4年度～令和8年度 5年間）
- ・令和4年4月～ 土浦市地域公共交通計画に基づく施策の実施
（公共交通マップ、マイ時刻表サービス、既存公共交通の維持、新規コミュニティ交通導入等）

【今年度事業内容】

- ・地域公共交通計画に位置付けたコミュニティ交通導入促進地域における新規コミュニティ交通の実証運行
- ・つちうらM a a Sの実証実験への参画
- ・地域、事業者、関係団体等との協働による公共交通ネットワークの確保・維持・改善等
- ・交通弱者への移動支援（三輪自転車購入の補助）

(単位：千円)



つちまるバス

概要	事業費
新規公共交通導入対象地区への意向調査費用	49
協議会負担金（地域公共交通確保維持改善事業、公共交通PR事業等）	69,352
バス運行対策費負担金（地域幹線系統への県との協調補助）	3,570
つちうらM a a S推進協議会負担金	5,500
霞ヶ浦広域バス・千代田神立ライン運行補助金	4,966
三輪自転車購入補助金	250
合計	83,687

【今後の予定】

新規コミュニティ交通の導入を進めるとともに、公共交通事業者への支援を通して既存路線の維持を図ることで、公共交通不便地域の解消を目指します。

期待される効果・成果目標等

利用しやすい公共交通環境の整備、各公共交通の役割分担と連携強化、地域・事業者・行政の協働による公共交通の確保・維持・改善によって、公共交通利用者の満足度の向上、公共交通利用者数の維持、公共交通不便地域の解消に寄与します。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

事業名	地域地区等調査事業	(継続)
-----	-----------	------

担当	都市政策部 都市計画課
----	----------------

(単位：千円)

予算額		16,054	リーディングプロジェクト	3	暮らしやすさ、働きやすさが人を呼ぶまちづくり
財源内訳	国県支出金		基本目標	8	効率的な行財政運営による持続可能なまちづくり
	地方債				
	その他		政策方針	3	時代の変化に応じた持続可能な都市の形成
	一般財源	16,054			
全体事業費	58,455	事業期間	令和4年度～令和8年度		

事業の目的
 地域の実情に合った都市計画の見直しを実施するとともに、地区計画の導入等を通じて、地域特性に応じた土地利用の誘導を図ります。

事業の概要

【これまでの経緯】

- 平成28年度 都市計画基礎調査
- 平成29年度 仲の杜地区地区計画決定図書作成、GISデータ更新、用途地域図印刷
- 令和元年度 地域地区等調査
- 令和2年度 都市計画決定及び変更図書作成、GISデータ更新、用途地域図印刷
- 令和3年度 都市計画基礎調査、基本図修正、地形図印刷
- 令和4年度 GISデータ更新
- 令和5年度 地域地区等調査（地区計画の検討調査）、用途地域図印刷

【今年度事業内容】

地域の実情に合った都市計画の見直しを図るため、都市計画基礎調査等を踏まえ地域地区等調査を実施するとともに、地域特性に応じた土地利用の誘導を図るため、地区計画検討調査を行います。また、都市計画の決定等に応じてGIS等の都市計画情報の更新を実施します。

(単位：千円)

区分	概要	事業費
報償費等	審議会運営	255
委託料	・地域地区等調査及び変更図書作成委託 ・地区計画検討調査及び決定図書作成委託 ・都市計画情報等GIS更新委託	15,799
合計		16,054

【今後の予定】

今年度の調査を踏まえ、都市計画の見直しを実施するとともに、地区計画の導入を進めます。また、都市計画の決定等に応じて、GIS等の都市計画情報の更新を行います。



仲の杜地区

期待される効果・成果目標等

区域区分及び用途地域の見直しを通して地域の実情に合った都市計画の見直しを行うことで、効率的な行財政運営を図り、持続可能なまちづくりを推進します。また、地区計画の導入を通じて地域特性に応じた土地利用の誘導を図り、産業用地の創出や地域の活性化を促進します。さらに、GIS等の都市計画情報の更新を行い、利用者が最新の都市計画情報にアクセスできる環境を整備します。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

事業名	開発候補地調査検討事業	(新規)	担当	都市政策部 都市整備課
-----	-------------	------	----	----------------

(単位：千円)

予算額		8,500	リーディングプロジェクト	3	暮らしやすさ、働きやすさが人を呼ぶまちづくり
財源内訳	国県支出金		基本目標	8	効率的な行財政運営による持続可能なまちづくり
	地方債				
	その他		政策方針	3	時代の変化に応じた持続可能な都市の形成
	一般財源	8,500			
全体事業費	8,500	事業期間	令和6年度		

事業の目的

スマートインターチェンジ整備及びつくばエクスプレス延伸等、交通ネットワークの形成を見据え、新たな地域開発に向けた基礎資料の作成を行います。

事業の概要

【今年度事業内容】

スマートインターチェンジ整備及びつくばエクスプレス延伸等を見据え、開発の候補地となる地区を抽出し、土地利用状況や諸条件等の現況を整理するなど、開発可能性の調査検討を行います。

(単位：千円)

区分	概要	事業費
委託料	開発候補地可能性調査検討委託	8,400
旅費等	事務費(旅費、使用料)	100
合計		8,500

【今後の予定】

土地所有者、立地を希望する企業ニーズなど、権利や現状の調査を行うことで、開発候補地整備の具体化に向けた課題等を整理します。



土地利用イメージ図

期待される効果・成果目標等

新たな交通ネットワークの形成に合わせた土地利用を図ることで、人口の増加や経済の活性化が期待されます。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

事業名	スマートインターチェンジ整備事業（継続）
-----	----------------------

担当	都市政策部 都市計画課
----	----------------

(単位：千円)

予算額		30,723	リーディング プロジェクト	3	暮らしやすさ、働きやすさが人を呼ぶまちづくり
財 源 内 訳	国県支出金		基本目標	8	効率的な行財政運営による持続可能なまちづくり
	地方債				
	その他		政策方針	2	魅力的な都市環境・住環境の創出
	一般財源	30,723			
全体事業費		962,495	事業期間	令和2年度～令和12年度	

事業の目的

スマートインターチェンジは、地域生活の充実や地域経済活性化が期待できることから、整備に向けた検討を行います。

事業の概要

【これまでの経緯】

- ・令和2～3年度 スマートIC設置可能性調査の実施
(必要性、設置候補位置、交通量推計、整備効果の検討等)
- ・令和4～5年度 スマートIC設置検討調査の実施
(予備設計、交通量推計、整備効果の検討・修正業務等)

【今年度事業内容】

スマートIC設置における検討調査及び国・県・NEXCO等関係機関との協議を実施します。

(単位：千円)

概要	事業費
スマートIC設置検討調査等委託	11,484
スマートIC路線測量委託	13,684
スマートIC軟弱地盤解析委託	3,487
接続道路概略設計委託	2,068
合計	30,723

【今後の予定】

早期の新規事業化に向け、国・県・NEXCO等の関係機関と協議を実施しながら、幾何構造や整備効果等の検討を進めます。

期待される効果・成果目標等

スマートインターチェンジの整備により、高速道路の利便性向上が図られるほか、中心市街地へのアクセス向上や観光の振興、物流の効率化、救急医療の支援等による地域経済の活性化への効果が期待できます。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

事業名	インターチェンジ周辺地区土地利用促進事業（継続）	担当	都市政策部 都市整備課
-----	--------------------------	----	----------------

(単位：千円)

予算額		63,943	リーディングプロジェクト	3	暮らしやすさ、働きやすさが人を呼ぶまちづくり
財源内訳	国県支出金		基本目標	8	効率的な行財政運営による持続可能なまちづくり
	地方債				
	その他		政策方針	3	時代の変化に応じた持続可能な都市の形成
一般財源	63,943				
全体事業費		63,943	事業期間	令和6年度	

事業の目的

インターチェンジ周辺地区において、広域交通ネットワークを活かした産業発展を促す拠点として適切な土地利用の誘導を行い、民間事業所等の立地促進を図ります。

事業の概要

【これまでの経緯】

令和2年度から現況調査、土地利用構想策定等に取り組むとともに、民間事業者ヒアリング等により企業立地ニーズの把握を行いました。

令和5年度は、地権者組織である発起人会が立ち上がり、組合の前身組織となる準備委員会の設立に向けて先進地視察や勉強会を開催したほか、概算資金計画を地権者に説明し、準備委員会設立についての仮同意取得を進めました。

【今年度事業内容】

- ・早期の準備委員会の設立に向け、発起人会と連携し、地権者合意形成を図ります。
- ・準備委員会設立後は、詳細な事業化検討調査の実施と業務代行予定者を選定するための作業を進め、事業化に向けた取組を推進します。

(単位：千円)

区分	概要	事業費
委託料	事業化検討調査委託	57,750
需用費等	事務費（報酬、旅費等）	6,193
合計		63,943



【今後の予定】

適正な土地利用の誘導を図り、産業発展を促す拠点整備を推進します。

期待される効果・成果目標等

インターチェンジ周辺への土地利用の誘導により、民間事業所等の立地促進を図り、地域経済の活性化や雇用の場の創出など、多くの経済効果が期待されます。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

事業名	田村沖宿線延伸道路整備事業	(継続)
-----	---------------	------

担当	建設部 道路建設課
----	--------------

(単位：千円)

予算額		46,550	リーディングプロジェクト	3	暮らしやすさ、働きやすさが人を呼ぶまちづくり
財源内訳	国県支出金	21,450	基本目標	8	効率的な行財政運営による持続可能なまちづくり
	地方債	11,600			
	その他	6,123	政策方針	2	魅力的な都市環境・住環境の創出
	一般財源	7,377			
全体事業費		2,210,943	事業期間	平成24年度～令和9年度	

事業の目的

国道354号おおつ野団地入口交差点から神立駅東地区方面の区間を整備することで、南北方向の道路網強化を図るとともに、近隣の学校への通学路として、児童・生徒の安全を確保します。

事業の概要

【これまでの経緯】
令和5年度は、道路改良工事を実施しました。

【今年度事業内容】
令和6年度は、用地買収・物件補償等を実施します。

(単位：千円)

区分	概要	事業費
公有財産購入費	用地買収	24,000
補償補填及び賠償金	物件補償	18,000
役務費	不動産鑑定 補償費算定	1,500
工事請負費	道路改良工事等	2,000
委託料等	復元測量等	1,050
合計		46,550

【今後の予定】
令和9年度末までの事業完了を目指します。

田村沖宿線延伸道路整備事業
L=2,900m W=14m

期待される効果・成果目標等

神立駅東地区及び隣接するかすみがうら市とおおつ野地内の円滑な交通体系が構築され、総合病院である土浦協同病院へのアクセス向上が図られます。
また、歩行者と自転車の安全な通行帯が確保されます。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

事業名	荒川沖木田余線（Ⅱ期）整備事業（継続）
-----	---------------------

担当	建設部 道路建設課
----	--------------

(単位：千円)

予算額	421,898	リーディングプロジェクト	3	暮らしやすさ、働きやすさが人を呼ぶまちづくり	
財源内訳	国県支出金	158,850	基本目標	8	効率的な行財政運営による持続可能なまちづくり
	地方債	236,700			
	その他		政策方針	2	魅力的な都市環境・住環境の創出
一般財源	26,348				
全体事業費	4,511,092	事業期間	平成30年度～令和14年度		

事業の目的

県道土浦港線から都市計画道路真鍋神林線まで（県事業区間除く）の3車線区間（Ⅱ期：L=630m）を4車線化することにより、道路ネットワークの強化及び交通渋滞の緩和を図ります。

事業の概要

【これまでの経緯】
令和5年度は用地買収・物件補償等を実施しました。

【今年度事業内容】
令和6年度も引き続き用地買収・物件補償等を実施します。

(単位：千円)

区分	概要	事業費
公有財産購入費	用地買収	38,000
補償補填及び賠償金	物件補償	359,000
役務費	不動産鑑定 補償費算定	24,398
工事請負費	交通安全施設 設置工事	300
需用費等	消耗品等	200
合計		421,898

【今後の予定】
令和14年度までの事業完了を目指します。

凡例

- 市事業区間(Ⅱ期)
- 市事業区間(Ⅰ期)
- 県事業区間

期待される効果・成果目標等

交通渋滞の原因となる3車線区間を4車線化することにより、道路ネットワークが強化され、物流・防災機能の向上が図られるとともに、市街地の交通渋滞が緩和され、安全性の向上が期待されます。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

事業名	木田余神立線街路事業（Ⅱ期）	（継続）
-----	----------------	------

担当	建設部 道路建設課
----	--------------

（単位：千円）

予算額	480,812	リーディングプロジェクト	3	暮らしやすさ、働きやすさが人を呼ぶまちづくり	
財源内訳	国県支出金	242,275	基本目標	8	効率的な行財政運営による持続可能なまちづくり
	地方債	178,400			
	その他		政策方針	2	魅力的な都市環境・住環境の創出
一般財源	60,137				
全体事業費	1,580,925	事業期間	平成24年度～令和8年度		

事業の目的

都市計画道路中貫白鳥線から北側の未整備区間を整備し、南北軸の道路ネットワーク強化を図るとともに、神立小学校の通学路として、児童の安全を確保します。

事業の概要

【これまでの経緯】
令和5年度は、道路改良工事を実施しました。

【今年度事業内容】
令和6年度は、用地買収・物件補償並びに道路改良工事を実施します。

（単位：千円）

区分	概要	事業費
公有財産購入費	用地買収	21,500
補償補填及び賠償金	物件補償	402,000
役務費	不動産鑑定 補償費算定	9,262
工事請負費等	道路改良工事等	48,050
合計		480,812

【今後の予定】
令和8年度末までの事業完了を目指します。

期待される効果・成果目標等

歩行者の安全な通行帯が確保されるほか、近隣にある救急告示病院である神立病院や指定緊急避難場所である神立公園へのアクセス向上が図られます。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

事業名	都市公園等長寿命化事業	(継続)
-----	-------------	------

担当	都市政策部 公園・施設管理課
----	-------------------

(単位：千円)

予算額		151,455	リーディング プロジェクト	—
財 源 内 訳	国県支出金	58,619	基本目標	8 効率的な行財政運営による持続可能なまちづくり
	地方債	52,700		
	その他		政策方針	2 魅力的な都市環境・住環境の創出
	一般財源	40,136		
全体事業費		151,455	事業期間	令和6年度

事業の目的

都市における生活環境を改善し、緑豊かで安全・快適な都市環境を創造するなど、良好な都市基盤を形成します。

事業の概要

【これまでの経緯】

公園施設の劣化や損傷を未然に防止しながら、日常的な維持管理や点検を行い、計画的かつ効率的に公園施設の管理を実施してきました。

令和5年度は、亀城公園の遊具及び濠水浄化施設の更新に向けた設計を行いました。

【今年度事業内容】

令和5年度に実施した設計に基づき、遊具及び浄化施設の更新工事を実施します。

また、遊具の更新・補修を計画的に実施し、亀城公園遊具の更新に当たっては、ユニバーサルデザインやインクルーシブの考え方を取り入れた遊具への更新を図ります。

(単位：千円)

区分	概要	事業費
委託料	遊具点検委託	3,883
工事請負費	亀城公園遊具更新工事	147,572
	亀城公園濠水浄化施設更新工事	
	公園遊具等更新・補修工事 他	
合計		151,455



現在の亀城公園遊具

【今後の予定】

公園施設長寿命化計画に基づき、公園施設の維持・更新等を推進します。

期待される効果・成果目標等

都市公園等の老朽化が顕在化している施設の改修等により、利便性・安全性の向上を図り、快適でうるおいのある都市空間の形成に寄与します。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

事業名	川口ショッピングモール歩行空間再構築事業（新規）
-----	--------------------------

担当	都市政策部 都市整備課
----	----------------

(単位：千円)

予算額	6,500	リーディングプロジェクト	—
財源内訳	国県支出金	基本目標	3 「しごと」を核とした活力のあるまちづくり
	地方債		政策方針
	その他	1 中心市街地のにぎわいと活力の創出	
	一般財源		
全体事業費	6,500	事業期間	令和6年度

事業の目的

中心市街地の主要な回遊ルートとなっている川口ショッピングモールの歩行空間について、通行に安全な歩道としてだけでなく、活用される魅力ある歩行空間として再構築し、にぎわい創出を図ります。

事業の概要

【今年度事業内容】

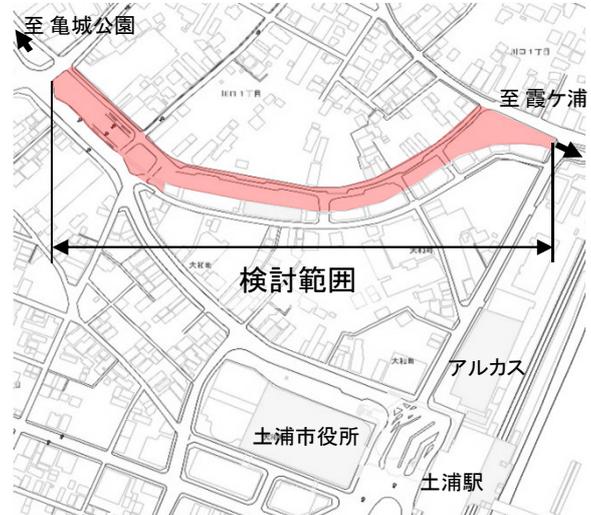
昭和60年に高架道と併せて整備された川口ショッピングモールの歩行空間について、再構築に向けた構想案の作成を行います。

(単位：千円)

区分	概要	事業費
委託料	歩行空間活用構想案作成委託	6,500



現況写真



位置図

【今後の予定】

基本構想を踏まえて、歩行空間の再構築に向けた取組を進めます。

期待される効果・成果目標等

魅力ある歩行空間を再構築することにより、多くの人が行き交い、交流する空間が創出され、中心市街地の活性化に寄与します。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

事業名	まちなか定住促進支援事業	(拡大)
-----	--------------	------

担当	都市政策部 都市整備課
----	----------------

(単位：千円)

予算額	19,992	リーディングプロジェクト	—
財源内訳	国県支出金	9,996	基本目標 3 「しごと」を核とした活力のあるまちづくり
	地方債		
	その他		政策方針 1 中心市街地のにぎわいと活力の創出
	一般財源	9,996	
全体事業費	223,163	事業期間	平成26年度～令和10年度

事業の目的

中心市街地活性化基本計画に基づき、定住促進を図る支援制度を実施することで、居住人口の増加を促し、活力とにぎわいのある中心市街地の再生を図ります。

事業の概要

【これまでの経緯】

市外から中心市街地に転入する新婚世帯又は子育て世帯に対して、家賃又は住宅購入に係る借入金の一部補助を実施しました。

【今年度事業内容】

単身学生世帯を新たな対象に加え、家賃の一部を補助します。さらに、新たな加算措置として、新婚世帯又は子育て世帯が、転入に伴い多世代近居・同居世帯となった場合に、家賃補助又は購入等借入金補助に近居・同居に応じた補助額を加算します。また、中心市街地に新たな賃貸住宅を建設する事業者に対して、建設費の一部を補助（100万円/戸）する支援制度を新設します。

助成制度	概要	事業費
まちなか賃貸住宅家賃補助	市外から中心市街地の賃貸住宅に住み替える新婚世帯又は子育て世帯に対し、家賃の1/2（上限2万円）を補助します。 また、市外から中心市街地の賃貸住宅に住み替える単身学生世帯に対し、家賃の1/2（上限1万円）を補助します。	8,552
まちなか住宅購入等借入金補助	市外から中心市街地に住宅を新築または購入して住み替える新婚世帯又は子育て世帯に対し、住宅購入借入金の3%（上限50万円）を補助します。	5,000
多世代近居・同居世帯への補助額加算	中心市街地への転入に伴い、多世代近居・同居世帯となる新婚世帯又は子育て世帯に対し、家賃補助額への加算（1万円/月）又は購入等借入金補助額への加算（10万円～20万円）を行います。	1,440
まちなか賃貸住宅建設補助	中心市街地で新たに賃貸住宅を建設する事業者に対し、建設費の一部を助成します。（100万円/戸）	5,000
合計		19,992

【今後の予定】

第三期中心市街地活性化基本計画の計画期間である令和10年度まで実施し、中心市街地への定住促進を図ります。

期待される効果・成果目標等

中心市街地への居住を促進し、中心市街地における活力とにぎわいのあるまちづくりに寄与します。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

事業名	中心市街地まちなか再生事業	(継続)
-----	---------------	------

担当	都市政策部 都市整備課
----	----------------

(単位：千円)

予算額		16,879	リーディングプロジェクト	2 未来につなげる「地域の宝」を生かしたまちづくり
財源内訳	国県支出金	3,600	基本目標	3 「しごと」を核とした活力のあるまちづくり
	地方債			
	その他		政策方針	1 中心市街地のにぎわいと活力の創出
一般財源	13,279			
全体事業費		34,001	事業期間	令和4年度～令和6年度

事業の目的

都市機能が集積した土浦駅周辺と歴史的まちなみが維持されている亀城公園周辺の中間に位置する中央一丁目地区において、商業施設等の民間活力の導入、子育て支援施設や交流拠点施設等の公共施設導入を進めるとともに、周辺の公共空間の活用・整備によるにぎわい創出を図り、中心市街地全体の活性化を目指します。

事業の概要

【これまでの経緯】

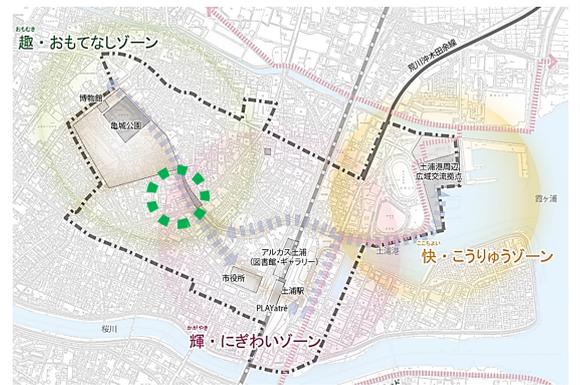
中央一丁目地区における新たな拠点施設や亀城モールの活用によるにぎわいの創出など、地域特性を活かしたまちづくり施策について、地元勉強会や、関係者・民間事業者との協議、地元中高生とのワークショップなどを行い、検討を進めました。

【今年度事業内容】

中央一丁目地区の新たな拠点施設における、民間活力を活用した事業手法について、官・民の役割分担を含めた検討を行い、基本計画を作成します。

(単位：千円)

区分	概要	事業費
委託料	中心市街地まちなか再生コーディネート委託	9,500
工事請負費	亀城モール日除け施設設置工事	7,200
負担金補助及び交付金	土浦市まちづくり活動助成金	100
旅費等	事務費(旅費・需用費)	79
合計		16,879



位置図

【今後の予定】

民間事業者による事業参入の可能性を検討するとともに、地域のまちづくりに対する気運の醸成を図り、地区の活性化につながる事業を展開していきます。

期待される効果・成果目標等

中央地区の地域特性を活かした官民連携によるまちづくり施策の展開により、当該地区の活性化に加えて、中心市街地全体への波及効果が期待されます。

款	土木費	項	住宅費
---	-----	---	-----

事業名	住生活基本計画策定及び 公営住宅等長寿命化計画見直し事業	(継続)
-----	---------------------------------	------

担当	建設部 住宅営繕課
----	--------------

(単位：千円)

予算額	8,467	リーディング プロジェクト	—
財源内訳	国県支出金	3,734	基本目標 8 効率的な行財政運営による持続可能なまちづくり
	地方債		
	その他		政策方針 2 魅力的な都市環境・住環境の創出
	一般財源	4,733	
全体事業費	13,700	事業期間	令和5年度 ～ 令和6年度

事業の目的

市営住宅を含む住宅分野の施策を総合的かつ計画的に推進するため、住生活基本計画を策定します。また、この住生活基本計画が公営住宅等長寿命化計画の上位計画に位置づけられることから、整合性を確保し、住宅インフラの健全な発展を目指すため、同時に計画の見直しを行います。

事業の概要

【これまでの経緯】

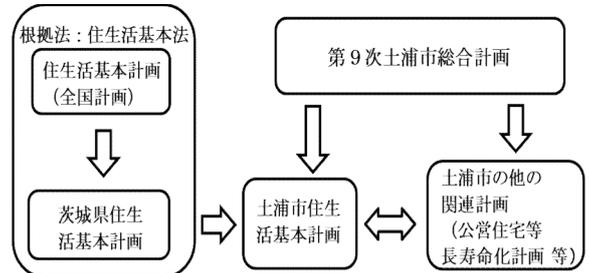
- ・住生活基本計画では、本市の住宅や住環境に関する現状や課題、意識調査を実施する等により整理を行い、住宅施策の基本理念や基本目標の検討を進めました。
- ・公営住宅等長寿命化計画見直しについては、市営住宅の現状や課題を再整理し、長寿命化に関する基本方針の見直しを進めました。

【今年度事業内容】

- ・住生活基本計画は、現状や課題を踏まえ、住宅施策に関する基本理念や基本目標を実現するための施策についての計画策定を進めます。
- ・パブリックコメントを実施し、令和7年3月の計画策定に取り組みます。
- ・公営住宅等長寿命化計画見直しは、課題や将来の必要戸数及び劣化状況を踏まえ、計画修繕の方針や、長寿命化のための実施計画の見直しを進めます。

(単位：千円)

区分	概要	事業費
委託料	住生活基本計画策定委託	5,163
	公営住宅等長寿命化計画見直し委託	3,136
報償費	策定委員会運営（委員報償費）	168
合計		8,467



【今後の予定】

住生活基本計画及び公営住宅等長寿命化計画を踏まえ、各種施策の推進を図ります。

期待される効果・成果目標等

策定された住生活基本計画に基づき、住宅分野の施策を推進することにより、市民の住生活の安定確保及び向上促進に寄与します。また、見直しを行った公営住宅等長寿命化計画に基づき、市営住宅の適切な維持管理の推進が図られます。

款	消防費	項	消防費
---	-----	---	-----

事業名	警防救急事業 (拡大)
-----	-------------

担当	消防本部 警防救急課
----	---------------

(単位：千円)

予算額		21,451	リーディング プロジェクト	—
財 源 内 訳	国県支出金		基本目標	4 全ての市民が安心して暮らせるまちづくり
	地方債			
	その他	2,136	政策方針	3 全ての災害から市民を守る消防・救急体制の強化
	一般財源	19,315		
全体事業費		21,451	事業期間	令和6年度

事業の目的

俯瞰的視点からの情報収集に有用であるドローンを導入し、災害現場等で活用することにより、大規模災害や常時発生する災害等から市民の安心安全を守ります。

事業の概要

【今年度事業内容】

災害時の俯瞰的視点での情報収集手段として、令和6年度よりドローンを導入します。

活用例として、水難救助では、これまでボート等を用意して検索活動を実施していましたが、ドローンを導入することで、ボート等に先行して迅速かつ安全に検索活動を行うことが可能となり、早急に検索活動をすることで被害を軽減させることが期待できます。

また、これまで困難だった土砂災害等の危険箇所の把握等も可能となり、災害の事前対策としての活用も期待できます。

これらを実現するため、ドローンの機体整備及びパイロットの育成と併せて、災害時に素早く稼働できるよう運用基準についても整備します。

(単位：千円)

実施内容	事業費
ドローンの整備 (機体購入費、パイロット養成費等)	696
経常的な警防救急業務 (救急消耗品購入、AED借上料等)	20,755
合計	21,451



ドローン

【今後の予定】

常時稼働できるよう、機体の確保・整備及びパイロットの育成を進めていきます。

期待される効果・成果目標等

近年頻発している大規模災害において、俯瞰的視点で情報収集ができるドローンの活用は有用性が確認されています。また、大規模災害に限らず、常時発生する災害 (火災・救急・救助) に対しても非常に有用であり、そのような状況において、ドローンの活用は一層の効果を発揮することから、常に災害に備えて稼働できるよう、機体の整備及びパイロットの育成を推進することで、市民の安心安全に寄与します。

款	消防費	項	消防費
---	-----	---	-----

事業名	救助資器材整備事業	(継続)
-----	-----------	------

担当	消防本部 警防救急課
----	---------------

(単位：千円)

予算額		370	リーディング プロジェクト	—
財源内訳	国県支出金		基本目標	4 全ての市民が安心して暮らせるまちづくり
	地方債			政策方針
	その他			
	一般財源	370		
全体事業費		370	事業期間	令和6年度

事業の目的
 複雑多様化する災害に対応するため、救助資器材の更新整備を行うことで、市民の生命・身体・財産を守ることができる消防力の維持・強化に努めます。

事業の概要

【これまでの経緯】
 消防力を充実させるため、各種災害に対応できる必要な資器材を選定し導入してきました。資器材については、経年劣化及び耐用期限があることから、適宜、更新する必要があります。

【今年度事業内容】
 令和6年度は救助用胴長靴を購入し各消防署に配備します。

(単位：千円)

区分	概要	事業費
消耗品費	救助用胴長靴	370

救助用胴長靴は、踏み抜き防止構造等を備えており、安全に作業が行えることから、土砂風水害現場等で使用されています。また、大規模災害に限らず、大雨による道路の冠水などの状況にも対応できます。令和3年7月に発生した静岡県熱海市の土砂災害においても、多くの消防本部で使用されていました。

【今後の予定】
 計画的に救助資器材を更新し、消防力の充実を図ります。



救助用胴長靴

期待される効果・成果目標等
 救助資器材の更新整備により、消防力の充実を図ることで、複雑多様化する災害から市民の生命・身体・財産を守り、安心・安全なまちづくりに寄与します。

款	消防費	項	消防費
---	-----	---	-----

事業名	救急資器材整備事業	(継続)
-----	-----------	------

担当	消防本部 警防救急課
----	---------------

(単位：千円)

予算額		905	リーディング プロジェクト	—
財 源 内 訳	国県支出金		基本目標	4 全ての市民が安心して暮らせるまちづくり
	地方債			
	その他		政策方針	3 全ての災害から市民を守る消防・救急体制の強化
	一般財源	905		
全体事業費		905	事業期間	令和6年度

事業の目的

感染症の危険を伴う救急活動に対し、計画的に資器材を備蓄し、常に対応可能な状態を維持します。

事業の概要

【これまでの経緯】

新型コロナウイルス感染症の流行時に資器材の流通が滞った際は、備蓄品を使用することで迅速に対応することができました。

【今年度事業内容】

経年劣化があるため、感染防止対策資器材の備蓄量の約1/5ずつを購入し、必要な量を維持します。

(単位：千円)

区分	概要	事業費
消耗品費	<ul style="list-style-type: none"> ・感染着 ・N95マスク ・ニトリルグローブ ・タイベック ・シューズカバー ・人工呼吸器フィルター ・センサーモジュール 	905



感染着着用例

【今後の予定】

必要な備蓄品を検討し、新たな感染症にも対応できる状態を維持していきます。

期待される効果・成果目標等

感染防止対策を充実させ、市民からの救急要請等に十分に対応できる体制の確保を図ります。

款	消防費	項	消防費
---	-----	---	-----

事業名	常備消防車両更新事業	(継続)
-----	------------	------

担当	消防本部 消防総務課
----	---------------

(単位：千円)

予算額		81,697	リーディング プロジェクト	—
財 源 内 訳	国県支出金	20,128	基本目標	4 全ての市民が安心して暮らせるまちづくり
	地方債	44,700		
	その他		政策方針	3 全ての災害から市民を守る消防・救急体制の強化
	一般財源	16,869		
全体事業費		81,697	事業期間	令和6年度

事業の目的

更新基準に達している消防車両を計画的に更新することにより、消防力の強化を図ります。

事業の概要

【これまでの経緯】

消防車両更新計画に基づき、消防ポンプ自動車、救急車の整備を実施してきました。
令和5年度は、化学消防ポンプ自動車、高規格救急車の整備を実施しました。

【今年度事業内容】

荒川沖消防署に配置している水槽付消防ポンプ自動車及び新治消防署に配置している査察広報車を更新します。

(単位：千円)

区分	概要	事業費
車両購入費	・水槽付消防ポンプ自動車 ・査察広報車	81,440
その他	旅費、手数料、保険料等	257
	合計	81,697



水槽付消防ポンプ自動車



査察広報車(山岳対応)

【今後の予定】

消防力の強化を図るため、引き続き計画に基づいた車両の更新を進めていきます。

期待される効果・成果目標等

消防力の根幹である、緊急自動車を整備することにより、消防力の更なる強化を図り、安心安全なまちづくりに寄与します。

款	教育費	項	教育総務費
---	-----	---	-------

事業名	教育相談室管理運営事業	(継続)	担当	教育委員会 指導課
-----	-------------	------	----	--------------

(単位：千円)

予算額	27,028	リーディング プロジェクト	—	
財 源 内 訳	国県支出金	基本目標	1 心豊かに住み続けることのできるまちづくり	
	地方債		政策方針	2 時代の変化に対応した学校教育の充実
	その他	27,028		
	一般財源			全体事業費

事業の目的

教育相談室の教育相談員を増員し、従来の教育問題全般に対する電話による相談活動と適応指導教室「ポプラひろば」による不登校児童生徒に対する適応指導等に加え、中学校等の「校内フリースクールへの支援活動・通室生への学習支援」等を拡充することで、より多くの子どもたちの個人のニーズに応じた学びの場を確保し、成長できる環境を整えます。

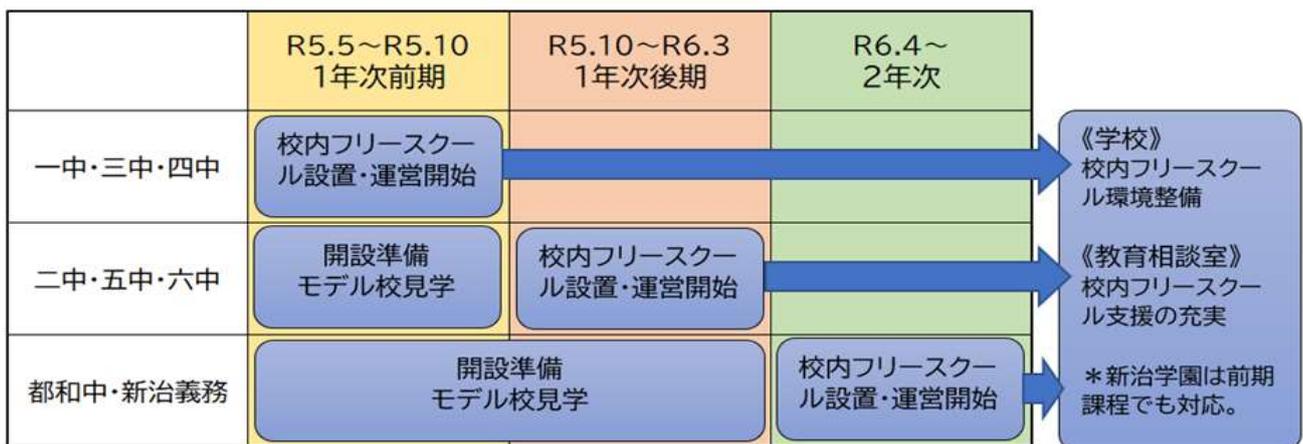
事業の概要

【これまでの経緯】

- 令和5年度 校内フリースクール等支援事業開始
 - 3期に分け、段階的に校内フリースクール支援の充実化を図り、教育相談員を週1回派遣
 - 《1年次前期》モデル校3校で実施し、生徒支援の手立て・運営の検証を実施
 - 《1年次後期》前期モデル校の運営状況を参考に、さらに3校で追加実施

【今年度事業内容】

《2年次》1年次前後期の運営状況を参考に、4月より都和中・新治学園義務教育学校で実施



スケジュール

【今後の予定】

市内の不登校児童生徒の動向にあわせた支援事業の充実を図り、今後の支援方策や事業展開を検証します。

期待される効果・成果目標等

市内すべての中学校等に支援事業を拡大することで、個別サポートが迅速かつ効果的に行えます。本事業により、子どもたちにとって有益なサポート体制の構築に寄与します。

款	教育費	項	教育総務費
---	-----	---	-------

事業名	地域スポーツ・文化クラブ運営事業（継続）	担当	教育委員会 指導課
-----	----------------------	----	--------------

(単位：千円)

予算額	22,433	リーディングプロジェクト	—
財源内訳	国県支出金	基本目標	1 心豊かに住み続けることのできるまちづくり
	地方債		政策方針
	その他	5,500	
	一般財源	16,933	
全体事業費	79,088	事業期間	令和5年度～令和7年度

事業の目的

部活動が地域に開かれ、新たな仲間が加わることで、多様な価値観や経験を共有し、より豊かな活動を推進します。

事業の概要

【これまでの経緯】

令和5年度から令和7年度末までを、休日の部活動の地域移行改革推進期間として国が位置付けたことを受け、休日の部活動を段階的に地域に移行するため、「土浦市地域クラブ活動推進協会」に業務を委託し、運動部活動のうち4競技で実証事業を開始しました。



拠点の枠組み

【今年度事業内容】

実証事業における課題と成果を整理し、今後の事業拡大を見据えた検証を実施します。

【今後の予定】

令和8年度の地域移行本格実施に向けた段階的な移行を推進します。



今後のスケジュール

期待される効果・成果目標等

地域クラブ活動により、技能向上の促進だけでなく、同世代の新たな交流の創出や次世代の本市を担う人材育成に寄与します。

款	教育費	項	小学校費
---	-----	---	------

事業名	上大津地区統合小学校整備事業 (継続)
-----	---------------------

担当	教育委員会 教育総務課
----	----------------

(単位：千円)

予算額	109,407	リーディングプロジェクト	1 子どもが夢と希望を持ち、生き生きと育つまちづくり
財源内訳	国県支出金	基本目標	1 心豊かに住み続けることのできるまちづくり
	地方債		
	その他	政策方針	2 時代の変化に対応した学校教育の充実
	一般財源		109,407
全体事業費	362,771	事業期間	令和5年度～令和10年度

事業の目的
 児童数が減少し、学級数が適正規模に満たない小学校がある上大津地区について、「上大津地区小学校適正配置実施計画」（令和5年2月改訂）に基づき、上大津地区に統合小学校を整備します。

事業の概要
【これまでの経緯】
 令和4年度 ・(仮称) 土浦市立上大津地区統合小学校整備基本計画策定
 令和5年度 ・統合小学校建設用地取得
 ・(仮称) 土浦市立上大津地区統合小学校整備基本・実施設計業務委託プロポーザル選定検討委員会

(単位：千円)

【今年度事業内容】
 令和5年度～7年度の継続事業として、基本・実施設計を実施します。

区分	概要	事業費
旅費	旅費	50
委託料	上大津地区統合小学校整備基本・実施設計委託	64,357
	埋蔵文化財調査委託	45,000
合計		109,407

【今後の予定】
 施設整備スケジュール

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
基本・実施設計	→				
埋蔵文化財調査	←				
校舎・体育館新築工事			←		
グラウンド整備					←
既存校舎解体工事					←

令和10年4月開校

期待される効果・成果目標等
 統合小学校の整備により、学級数の規模の適正化を図ることで、児童の学習環境や学校生活など、より良い教育環境の整備と学校教育の充実に寄与します。

款	教育費	項	小学校費・中学校費
---	-----	---	-----------

事業名	小学校・中学校長寿命化改良事業 (継続)
-----	----------------------

担当	教育委員会 教育総務課
----	----------------

(単位：千円)

予算額	71,592	リーディングプロジェクト	1 子どもが夢と希望を持ち、生き生きと育つまちづくり
財源内訳	国県支出金	基本目標	1 心豊かに住み続けることのできるまちづくり
	地方債		
	その他	政策方針	2 時代の変化に対応した学校教育の充実
	一般財源		71,592
全体事業費	1,928,004	事業期間	令和5年度～令和6年度

事業の目的	令和2年度に策定した学校施設の長寿命化計画に基づき、ライフサイクルコストの縮減及び予算の平準化を図りつつ、学校施設に求められる機能・性能を確保します。
-------	---

事業の概要	<p>【これまでの経緯】</p> <p>◎長寿命化改良工事</p> <p>令和4年度 神立小学校屋内運動場棟及び特別教室棟、土浦第四中学校校舎棟 (1期工)</p> <p>令和5年度 東小学校屋内運動場棟、都和南小学校校舎棟及び屋内運動場棟(1期工)、土浦第四中学校校舎棟(2期工)</p> <p>【今年度事業内容】</p> <p>○小学校費 (単位：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>概要</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>都和南小学校校舎棟及び屋内運動場棟 (2期工)</td> <td>産業廃棄物処分・収集運搬委託</td> <td>4,034</td> </tr> <tr> <td>乙戸小学校校舎棟及び屋内運動場棟 (1期工)</td> <td>産業廃棄物処分・収集運搬委託、計画通知等申請手数料</td> <td>7,668</td> </tr> <tr> <td>神立小学校校舎棟</td> <td>基本設計委託、耐力度調査委託、アスベスト調査委託</td> <td>27,473</td> </tr> <tr> <td colspan="2">令和6年度 計</td> <td>39,175</td> </tr> <tr> <td>都和南小学校校舎棟及び屋内運動場棟 (2期工)</td> <td>長寿命化改良工事、工事監理委託、仮設校舎借上</td> <td>1,428,673</td> </tr> <tr> <td>乙戸小学校校舎棟及び屋内運動場棟 (1期工)</td> <td>長寿命化改良工事、工事監理委託、仮設校舎借上</td> <td>188,060</td> </tr> <tr> <td colspan="2">令和5年度繰越分 計</td> <td>1,616,733</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>1,655,908</td> </tr> </tbody> </table> <p>○中学校費 (単位：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>概要</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土浦第二中学校武道場</td> <td>産業廃棄物処分・収集運搬委託</td> <td>605</td> </tr> <tr> <td>都和中学校校舎棟</td> <td>実施設計委託</td> <td>31,812</td> </tr> <tr> <td colspan="2">令和6年度 計</td> <td>32,417</td> </tr> <tr> <td>土浦第二中学校武道場</td> <td>長寿命化改良工事、工事監理委託</td> <td>239,679</td> </tr> <tr> <td colspan="2">令和5年度繰越分 計</td> <td>239,679</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>272,096</td> </tr> </tbody> </table> <p>【今後の予定】</p> <p>学校施設の長寿命化計画に基づき、年次計画で長寿命化改良工事の基本・実施設計及び工事を行います。</p>	区分	概要	事業費	都和南小学校校舎棟及び屋内運動場棟 (2期工)	産業廃棄物処分・収集運搬委託	4,034	乙戸小学校校舎棟及び屋内運動場棟 (1期工)	産業廃棄物処分・収集運搬委託、計画通知等申請手数料	7,668	神立小学校校舎棟	基本設計委託、耐力度調査委託、アスベスト調査委託	27,473	令和6年度 計		39,175	都和南小学校校舎棟及び屋内運動場棟 (2期工)	長寿命化改良工事、工事監理委託、仮設校舎借上	1,428,673	乙戸小学校校舎棟及び屋内運動場棟 (1期工)	長寿命化改良工事、工事監理委託、仮設校舎借上	188,060	令和5年度繰越分 計		1,616,733	合計		1,655,908	区分	概要	事業費	土浦第二中学校武道場	産業廃棄物処分・収集運搬委託	605	都和中学校校舎棟	実施設計委託	31,812	令和6年度 計		32,417	土浦第二中学校武道場	長寿命化改良工事、工事監理委託	239,679	令和5年度繰越分 計		239,679	合計		272,096
区分	概要	事業費																																															
都和南小学校校舎棟及び屋内運動場棟 (2期工)	産業廃棄物処分・収集運搬委託	4,034																																															
乙戸小学校校舎棟及び屋内運動場棟 (1期工)	産業廃棄物処分・収集運搬委託、計画通知等申請手数料	7,668																																															
神立小学校校舎棟	基本設計委託、耐力度調査委託、アスベスト調査委託	27,473																																															
令和6年度 計		39,175																																															
都和南小学校校舎棟及び屋内運動場棟 (2期工)	長寿命化改良工事、工事監理委託、仮設校舎借上	1,428,673																																															
乙戸小学校校舎棟及び屋内運動場棟 (1期工)	長寿命化改良工事、工事監理委託、仮設校舎借上	188,060																																															
令和5年度繰越分 計		1,616,733																																															
合計		1,655,908																																															
区分	概要	事業費																																															
土浦第二中学校武道場	産業廃棄物処分・収集運搬委託	605																																															
都和中学校校舎棟	実施設計委託	31,812																																															
令和6年度 計		32,417																																															
土浦第二中学校武道場	長寿命化改良工事、工事監理委託	239,679																																															
令和5年度繰越分 計		239,679																																															
合計		272,096																																															

期待される効果・成果目標等	長寿命化改良工事を行うことにより、安心・安全で持続的な学校施設となり、児童・生徒の教育環境の維持・確保に寄与します。
---------------	--

款	教育費	項	社会教育費
---	-----	---	-------

事業名	家庭教育支援事業	(継続)
-----	----------	------

担当	教育委員会 生涯学習課
----	----------------

(単位：千円)

予算額	490	リーディングプロジェクト	—	
財源内訳	国県支出金	326	基本目標	1 心豊かに住み続けることのできるまちづくり
	地方債			
	その他		政策方針	1 結婚・出産・子育ての切れ目のない支援の充実
	一般財源	164		
全体事業費	490	事業期間	令和6年度	

事業の目的
 子育ての不安や悩みを抱え、自ら学びの場や相談の場に足を運ぶことが難しい保護者のもとに、地域の家庭教育支援員が支援を届け、子どもの育ちを支えます。

事業の概要
【これまでの経緯】
 小学校へ入学する子どもを持つ家庭を対象として、就学時検診時に家庭教育支援員が事業の目的や相談窓口等を一人ひとりに説明し、家庭教育や福祉の情報を提供しながら、支援ニーズの把握に努めました。必要に応じて個別に面談等を行い、支援ニーズに対応した専門機関へ引継ぎました。
 ○家庭教育連絡調整会議、訪問型家庭教育支援事業推進協議会の開催（各2回）
 ○支援員活動の手引きの作成
 ○訪問型家庭教育支援事業の実施（16校）
 ・実施率：100%（実施世帯数：949／対象世帯数：949）
 ※うち個別相談件数：14件
 ・活動支援員：延べ62名



情報提供のチラシ

【今年度事業内容】 (単位：千円)

区分	概要	事業費
報償費	推進協議会委員報償費	128
	家庭教育支援員報償費	254
	研修会講師謝礼	30
需用費	研修会及び活動時消耗品	60
役務費	支援員活動時保険料	18
	合計	490

【今後の予定】
 活動方法等を検証し、見直しながら事業を継続して、全対象家庭に対する情報提供とニーズ把握を目指します。また、対象家庭以外で悩みを抱える保護者に対しても、個別に相談を受けるなど、専門・関係機関と連携して支援の幅を広げていきます。



保護者への声かけの様子

期待される効果・成果目標等
 家庭の孤立化を防ぎ、家庭教育に関わる問題の発生予防や早期発見につなげます。また、保護者の不安や悩みの解消、さらには学びの場などにつながることを支援します。

款	教育費	項	社会教育費
---	-----	---	-------

事業名	コミュニティ・スクール推進事業 (継続)
-----	----------------------

担当	教育委員会 指導課・生涯学習課
----	--------------------

(単位：千円)

予算額	4,454	リーディングプロジェクト	—	
財源内訳	国県支出金	522	基本目標	1 心豊かに住み続けることのできるまちづくり
	地方債			政策方針
	その他			
	一般財源	3,932		
全体事業費	4,454	事業期間	令和6年度	

事業の目的

市立小中学校、義務教育学校に導入した「コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）」の円滑な運営と、地域・学校との協働活動を推進します。

事業の概要

【これまでの経緯】

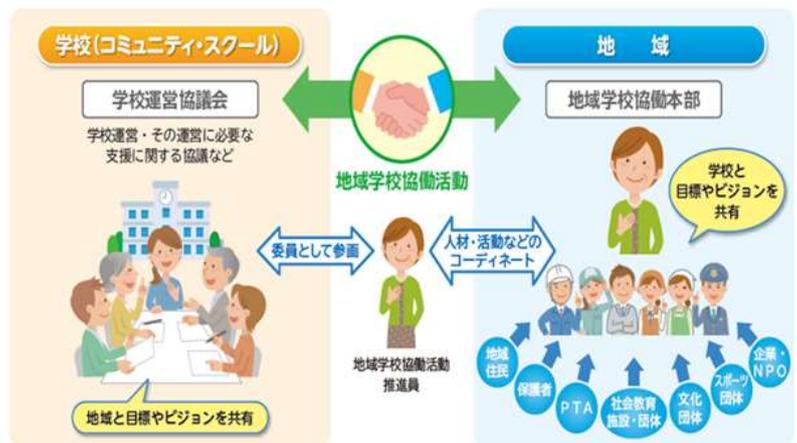
- ・令和3～4年度 新治学園義務教育学校を研究推進校(モデル校)に指定し、保護者・地域住民・学校長等を委員とした「土浦市コミュニティ・スクール推進委員会」を設置して、導入に向けた検討を行いました。
- ・令和5年度 市立小中学校、義務教育学校（全23校）にコミュニティ・スクールを導入し、各学校で学校運営の基本方針や学校評価等について協議を行いました。

【今年度事業内容】

- ・学校運営協議会の開催（各校3回程度）
- ・地域学校協働活動の体制づくり

(単位：千円)

区分	概要	事業費
報酬	CS委員報酬	3,588
報償費	活動推進員・支援員謝礼等	633
需用費	活動時消耗品等	158
役務費	活動時保険料	75
	合計	4,454



地域学校協働活動のイメージ

【今後の予定】

学校と地域住民等が力を合わせて学校運営に取り組む「コミュニティ・スクール」と、相互にパートナーとして様々な活動を行う「地域学校協働活動」を一体的に支援し、学校と地域の連携・協働を推進します。

期待される効果・成果目標等

学校、家庭、地域が連携して活動に取り組むことで、自立的・継続的に地域課題の解決が図られることが期待されます。

款	教育費	項	社会教育費
---	-----	---	-------

事業名	指定文化財等管理事業	(継続)
-----	------------	------

担当	教育委員会 文化振興課
----	----------------

(単位：千円)

予算額		2,991	リーディング プロジェクト	—
財源内訳	国県支出金		基本目標	2 未来につなげる魅力あるまちづくり
	地方債			
	その他		政策方針	3 歴史・芸術・文化のあふれるうるおいあるまちづくり
	一般財源	2,991		
全体事業費	2,991	事業期間	令和6年度	

事業の目的

土浦市文化財保存活用地域計画をもとに、貴重な文化財を後世に伝えるとともに、本市の歴史文化を活かしたまちづくりを進め、本市の魅力を高めていきます。

事業の概要

【これまでの経緯】

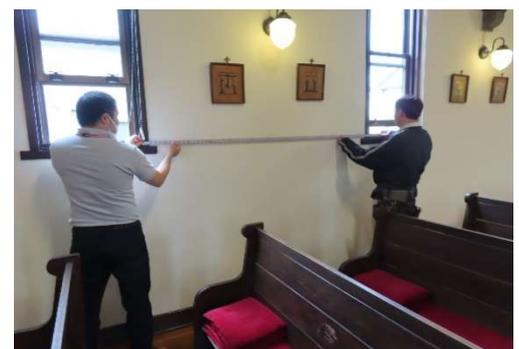
令和5年7月 「土浦市文化財保存活用地域計画」が文化庁長官の認定を受けました。

【今年度事業内容】

- 文化財保存活用地域計画推進協議会の開催
文化財保存活用地域計画に位置付けた諸事業について、意見聴取及び進捗管理を行います。
- 文化財管理公開の支援
指定等文化財の管理者に対して管理謝礼金を支給し、適切な公開管理を促します。
- 歴史的建造物調査委託
価値の高い歴史的建造物について詳細調査を行い、国登録有形文化財の登録を推進します。
- 県指定史跡「藤原藤房卿遺跡」樹木剪定委託
- 市指定文化財「愛宕神社本拝殿」茅屋根修理費補助

(単位：千円)

区分	概要	事業費
報償費	協議会委員謝礼、文化財管理者謝礼	651
委託料	歴史的建造物調査、樹木剪定	712
補助金	愛宕神社修理補助	1,628
合計		2,991



歴史的建造物の調査状況

【今後の予定】

「土浦市文化財保存活用地域計画」を基に、計画的な文化財の保存と活用を進めていきます。

期待される効果・成果目標等

歴史文化を後世に伝え、地域の個性を活かしたまちづくりに貢献するとともに、本市の魅力向上が期待されます。

款	教育費	項	社会教育費
---	-----	---	-------

事業名	文化財整備・活用事業	(継続)	担当	教育委員会 文化振興課
-----	------------	------	----	----------------

(単位：千円)

予算額		7,296	リーディングプロジェクト	2	未来につなげる「地域の宝」を生かしたまちづくり
財源内訳	国県支出金	3,516	基本目標	2	未来につなげる魅力あるまちづくり
	地方債				
	その他		政策方針	3	歴史・芸術・文化のあふれるうるおいあるまちづくり
一般財源	3,780				
全体事業費		7,296	事業期間	令和6年度	

事業の目的

土浦市文化財保存活用地域計画をもとに、具体的な文化財の保存活用を進めていくことで、歴史文化を活かしたまちづくりを進めていきます。

事業の概要

【これまでの経緯】

- 令和3年12月 国登録有形文化財建造物「一色家住宅主屋」及び土地・建物等の寄贈を受けました。
- 令和4年度 道路脇・駐車場等ブロック塀撤去工事
- 令和5年度 歴史的建造物利活用構想・保存活用計画作成、庭園樹木剪定・敷地森林整備委託
内閣府の官民連携推進に係る支援措置を受け、事業推進の課題等を検討しました。

【今年度事業内容】

○国登録有形文化財建造物「一色家住宅」の整備

- 「一色家住宅」施設維持管理経費
- 「一色家住宅」整備
建物耐震診断委託：整備設計に向けた建物耐震調査
- 整備・事業運営についての検討
サウンディング調査などを行い、市場性・利活用希望などを把握し、整備設計・運営に活かします。

【今後の予定】

今年度を実施する耐震判断及び市場判断成果を基に、令和7年度に耐震改修設計及び基本・実施設計を行い、令和8年度に整備改修工事を行う予定です。

(単位：千円)

区分	概要	事業費
需用費	光熱水費	72
委託料	・機械警備委託 ・耐震診断委託	7,224
合計		7,296



一色家住宅主屋(正面)・増築棟(左)・前庭・裏山

期待される効果・成果目標等

文化財保存活用地域計画に位置付けた文化財の保存活用を推進し、文化財を活かしたまちづくりに寄与します。

款	教育費	項	社会教育費
---	-----	---	-------

事業名	上高津貝塚長寿命化改良事業	(新規)
-----	---------------	------

担当	教育委員会 上高津貝塚 ふるさと歴史の広場
----	--------------------------

(単位：千円)

予算額	24,068	リーディングプロジェクト	2 未来につなげる「地域の宝」を生かしたまちづくり
財源内訳	国県支出金	基本目標	2 未来につなげる魅力あるまちづくり
	地方債		
	その他	政策方針	3 歴史・芸術・文化のあふれるうるおいあるまちづくり
一般財源	24,068		
全体事業費	744,013	事業期間	令和6年度～令和9年度

事業の目的

上高津貝塚ふるさと歴史の広場は、平成7年度の開館から28年が経過し、施設・設備面で老朽化していることから、長寿命化改良工事を行うことで、国重要文化財をはじめとした考古資料を次世代に受け継ぐための良好な収蔵・展示環境を整えます。

事業の概要

【今年度事業内容】

- 令和6年度 考古資料館長寿命化工事基本・実施設計委託

空調設備をはじめとする考古資料館全体の改修を行う設計を行います。



考古資料館



改修対象の空調機器(冷温水発生ユニット)

(単位：千円)

区分	概要	事業費
委託料	考古資料館長寿命化工事基本・実施設計委託	24,068

【今後の予定】

令和7年度から8年度にかけて休館し、改修工事を行います。

期待される効果・成果目標等

良好な収蔵・展示環境を整えるとともに、来館者に対しては安全で快適な施設環境を提供し、縄文時代を体験し学べる考古学専門の博物館としての価値を高めることを目指します。また、それにより本市の歴史文化に関心を持つ来館者の増加が期待されます。

款	教育費	項	社会教育費
---	-----	---	-------

事業名	上高津貝塚再整備事業 (新規)
-----	-----------------

担当	教育委員会 上高津貝塚 ふるさと歴史の広場
----	--------------------------

(単位：千円)

予算額	10,779	リーディングプロジェクト	2 未来につなげる「地域の宝」を生かしたまちづくり	
財源内訳	国県支出金	基本目標	2 未来につなげる魅力あるまちづくり	
	地方債		政策方針	3 歴史・芸術・文化のあふれるうるおいあるまちづくり
	その他			
一般財源	10,779	事業期間	令和6年度～令和9年度	
全体事業費	19,639			

事業の目的

上高津貝塚ふるさと歴史の広場の展示室は、平成7年度の開館から28年が経過しているため、縄文時代と貝塚の最新の研究を反映した展示室への改装を行います。

事業の概要

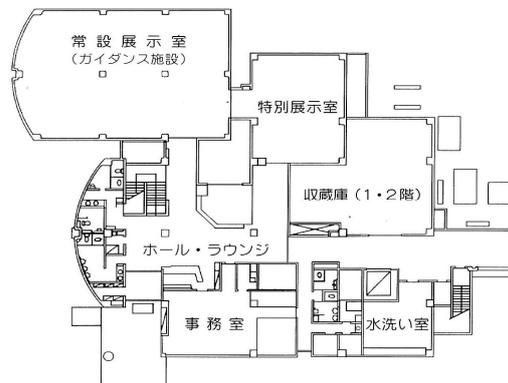
【今年度事業内容】

- ・令和6年度 展示改装 基本・実施設計委託

茨城県を代表する縄文時代の遺跡である国指定史跡上高津貝塚のガイダンス施設として、展示内容を改装する設計を行います。



現在の常設展示室



考古資料館1階平面図

(単位：千円)

区分	概要	事業費
委託料	展示改装基本・実施設計委託	10,779

【今後の予定】

令和7年度から8年度にかけて休館し、展示物や展示ケースなどを製作します。

期待される効果・成果目標等

展示改装によって、縄文時代を体験し、学ぶことができる関東地方でも有数の考古学の博物館としての価値を高めることを目指します。また、それにより本市の歴史文化に関心を持つ来館者の増加が期待できます。

款	教育費	項	社会教育費
---	-----	---	-------

事業名	重要資料公開推進事業	(継続)	担当	教育委員会 博物館
-----	------------	------	----	--------------

(単位：千円)

予算額		7,958	リーディング プロジェクト	—
財 源 内 訳	国県支出金		基本目標	2 未来につなげる魅力あるまちづくり
	地方債			
	その他		政策方針	3 歴史・芸術・文化のあふれるうるおいあるまちづくり
	一般財源	7,958		
全体事業費		7,958	事業期間	令和6年度

事業の目的

特別展やテーマ展を通して、本市の歴史に関する研究成果を広く公開・発信し、郷土の歴史を学ぶ市民の要望に応え、歴史への関心の向上を図ります。

事業の概要

【これまでの経緯】

開館以来、特別展やテーマ展などで、本市の歴史の特徴を紹介してきました。

【今年度事業内容】

◎第45回特別展「土浦“モノ”語り—資料が語る土浦の歴史—」

令和6年3月23日（土）～5月12日（日）

上高津貝塚ふるさと歴史の広場と合同で、本市の歴史の流れを紹介します。

◎第46回特別展「まなびやの源流—城下町ではおとなもこどもも—（仮）」

令和7年3月20日（木）～5月6日（火）

土浦の近代化を支え、高い水準を誇ってきた教育の源流を探り、紹介します。



郁文館の正門（土浦藩の藩校）

(単位：千円)

区分	概要	事業費
報償費	函録執筆謝礼、記念事業講師謝礼	120
旅費	展示資料調査旅費	150
需用費	函録・ポスター等印刷	2,300
役務費	通信運搬費、手数料等	5,388
合計		7,958

【今後の予定】

特別展やテーマ展を通して、市民の歴史や文化財に対する興味を高めます。

期待される効果・成果目標等

本市の歴史に関わる資料を調査研究し、その成果を公開することにより、市民が本市の歴史に対する理解を深めるとともに、文化財保護の機運も高まることが期待できます。

款	教育費	項	社会教育費
---	-----	---	-------

事業名	図書館サービス推進事業	(継続)	担当	教育委員会 図書館
-----	-------------	------	----	--------------

(単位：千円)

予算額	10,037	リーディングプロジェクト	—
財源内訳	国県支出金	基本目標	1 心豊かに住み続けることのできるまちづくり
	地方債		
	その他	政策方針	5 多様なニーズに対応した生涯学習の推進
	一般財源		10,037
全体事業費	10,037	事業期間	令和6年度

事業の目的

市民の生涯学習や情報の拠点として、多様なニーズに対応した資料や情報の提供及び課題解決支援などのサービスを充実させるとともに、まちづくりの拠点として、人が集い交流するためのイベントを開催することで、図書館の利用促進を図ります。

事業の概要

【今年度事業内容】

◎100周年記念「図書館フェス」

図書館は、大正13年6月1日、土浦町役場内に開館してから100周年を迎えます。これまでの歩みを振り返るとともに、次の100年に向けての新たな一歩となる様々なイベントを開催します。

◎電子書籍の購入

GIGAスクール構想により配付されているタブレットを活用した子どもたちの読書活動を推進するため、電子図書館の充実を図ります。

◎事業一覧

(単位：千円)

概要	金額
100周年記念「図書館フェス」	4,500
電子書籍の購入	2,541
利用促進イベントの開催	591
自主講座の開催	195
図書館・市民ギャラリー連携事業	355
本の通帳サービス	1,684
土浦市子ども読書活動推進計画	121
障害者サービス（郵送サービス）	50
合計	10,037



大正時代の土浦町役場

【今後の予定】

関連機関・団体、学校と連携を図りながら事業を展開するとともに、市民が図書館や本に親しむ機会の創出に努めます。

期待される効果・成果目標等

生涯学習や情報の拠点、まちづくりの拠点施設としての事業を展開し、市民の図書館に対する理解と関心を高めることで、利用者数の増加が期待されます。

款	教育費	項	保健体育費
---	-----	---	-------

事業名	小学校口腔衛生推進事業 (拡大)	担当	教育委員会 学務課
-----	------------------	----	--------------

(単位：千円)

予算額		1,003	リーディング プロジェクト	—
財 源 内 訳	国県支出金	60	基本目標	1 心豊かに住み続けることのできるまちづくり
	地方債			
	その他		政策方針	2 時代の変化に対応した学校教育の充実
	一般財源	943		
全体事業費		1,003	事業期間	令和6年度

事業の目的

生涯にわたり健康な生活を送るためには、学齢期から口腔の健康を維持することが重要であるため、市立小学校の児童に対しフッ化物洗口を実施します。

事業の概要

【これまでの経緯】

令和4年度に県のモデル事業として開始した都和小学校に、令和5年度中村小学校1校を追加し、市内小学校2校でフッ化物洗口を実施しました。

【今年度事業内容】

令和5年度にフッ化物洗口を実施した2校に乙戸小学校・大岩田小学校の2校を加えた、市内4校の児童を対象に週1回実施します。

- ・実施校 都和小学校、中村小学校、乙戸小学校、大岩田小学校
- ・対象者 都和小学校 第4～6学年 6学級 194人
中村小学校 第4～6学年 6学級 168人
乙戸小学校 第4学年 2学級 51人
大岩田小学校 第5学年 2学級 63人
- ・予算額 1,003千円(フッ化物洗口液、紙コップ等消耗品)



実施状況

【今後の予定】

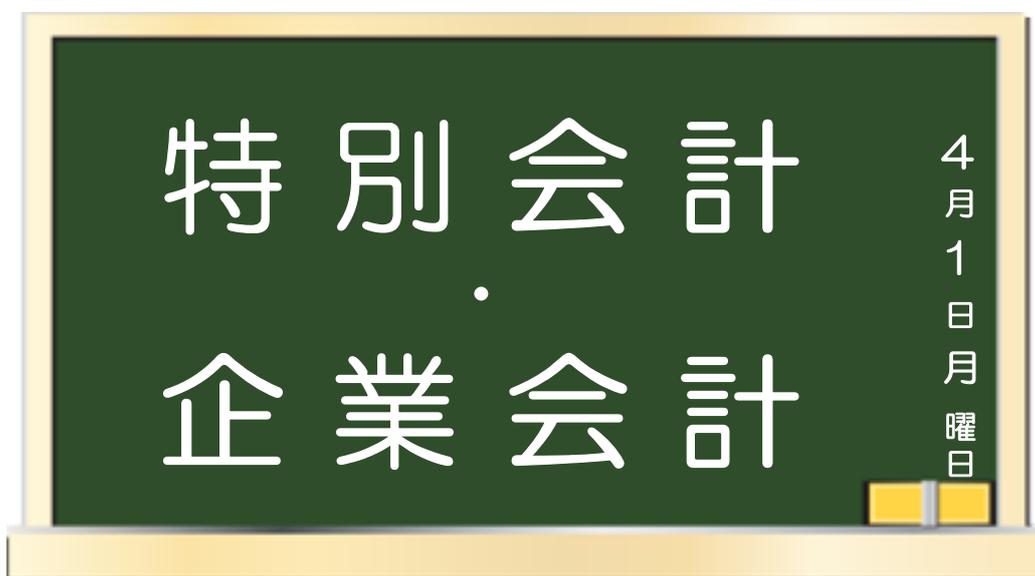
むし歯罹患率の高い小学校から、順次実施し、対象校を拡大していきます。

期待される効果・成果目標等

むし歯予防に効果のあるフッ化物洗口を、小学校で集団実施することで、歯の健康に課題を抱える児童を取り残すことなく、健康格差が解消されることが期待できます。

また、児童自身が自分の歯を守る意識を持てるようになることで、歯の健全な発育、さらには全身の健康増進が期待できます。

主要事業の概要



©土浦市

款	保健事業費	項	健康保持増進事業費
---	-------	---	-----------

事業名	高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業（新規）
-----	----------------------------

担当	保健福祉部 国保年金課
----	----------------

(単位：千円)

予算額		3,811	リーディング プロジェクト	—
財 源 内 訳	国県支出金		基本目標	6 ふれあいとあたたかさにあふれる福祉のまちづくり
	地方債			
	その他	3,811	政策方針	3 誰もが安心して暮らすことのできる医療体制・社会保障制度の充実
	一般財源			
全体事業費		3,811	事業期間	令和6年度

事業の目的

75歳以上の高齢者及び65歳以上の障害認定者に対して、保健事業と介護予防を一体的に実施することで、生活習慣病等の重症化予防や心身機能の維持を図ります。

事業の概要

【今年度事業内容】

茨城県後期高齢者医療広域連合からの委託事業として、高齢者に対する個別的支援（ハイリスクアプローチ）と、通いの場等への関与等（ポピュレーションアプローチ）の双方の取組を実施します。

ハイリスクアプローチでは、健診と医療機関の受診がなく、介護認定等も受けていない健康状態不明者の状態を把握し、これまでサービスが行き届いていなかった者を、適切な医療・介護サービス等につなぐ支援を実施します。

また、ポピュレーションアプローチでは、通いの場等において、医療専門職による健康教育・健康相談を実施します。

(単位：千円)

区分	概要	事業費
需用費	事業実施時消耗品	55
役務費	事業実施時郵送費	34
委託料	健康状態不明者への訪問指導等	3,722
合計		3,811

【今後の予定】

生活習慣病等の発症や重症化の予防及び心身機能の維持を図り、在宅で自立した生活を過ごせる高齢者を増やすため、関係各課と協力し、高齢者の保健事業と介護予防を一体的に実施します。

期待される効果・成果目標等

生活習慣病等の発症や重症化に至る前段階での支援を行い、心身機能の低下等を防止することで、高齢者の生涯にわたる健康の保持増進、ひいては生活の質（QOL：Quality Of Life）の維持及び向上を図ります。

これらの支援により、医療費や要介護認定率、介護給付費の縮減（削減）にも寄与することが期待されます。

款	資本的支出費	項	建設改良費
---	--------	---	-------

事業名	配水管施設整備事業／老朽管更新事業（継続）	担当	建設部 水道課
-----	-----------------------	----	------------

(単位：千円)

予算額		408,250	リーディング プロジェクト	—
財 源 内 訳	国県支出金		基本目標	7 未来につなげる環境にやさしいまちづくり
	地方債	22,000		
	その他		政策方針	4 人と自然にやさしい水環境の維持・改善
	一般財源	386,250		
全体事業費		408,250	事業期間	令和6年度

事業の目的

生活環境の改善と公衆衛生向上のため、送配水管の計画的な整備を行い、未給水地域の解消を図るとともに、安心・安全な水道水を安定的に供給するための相互連絡管路の充実を図ります。また、更新基準を超過した配水管の計画的な更新を行います。

事業の概要

◎配水管施設整備事業	未給水地域の解消と安心・安全な水道水を安定的に供給するための相互連絡管路網の充実を図ります。
【これまでの経緯】	平成28年度～令和5年度 布設延長 21,560m
【今年度事業内容】	配水管布設工事 L=360m 計20,000千円
【今後の予定】	第一次拡張計画に基づく配水管整備は、概ね市内全域に普及しています。今後は、残る地域について、配水管網の整備を推進します。
◎老朽管更新事業	施設の強化・耐震化により、漏水事故の未然防止と有収率の向上を図ります。
【これまでの経緯】	平成28年度～令和5年度 布設替延長 40,493m
【今年度事業内容】	実施設計委託 L=6,115m 更新工事 L=3,000m 計388,250千円
【今後の予定】	更新基準を超えた铸铁管・鋼管等について、計画的な更新工事を推進します。



港町一丁目地内外配水管布設工事

期待される効果・成果目標等

配水管施設整備と老朽管の更新を計画的に行うことで、利用者へ安心・安全な水道水を安定的に供給するとともに、災害時に備えた水の確保と災害に強い施設の確保に寄与します。

款	資本的支出	項	建設改良費
---	-------	---	-------

事業名	公共下水道（污水）整備事業	（継続）	担当	建設部 下水道課
-----	---------------	------	----	-------------

（単位：千円）

予算額		291,000	リーディング プロジェクト	—
財 源 内 訳	国県支出金	74,000	基本目標	7 未来につなげる環境にやさしいまちづくり
	地方債	201,500		
	その他	14,500	政策方針	4 人と自然にやさしい水環境の維持・改善
	一般財源	1,000		
全体事業費		291,000	事業期間	令和6年度

事業の目的

計画的に公共下水道を整備することにより、生活環境の向上と霞ヶ浦や河川等の公共用水域の水質保全を図ります。

事業の概要

【これまでの経緯】

昭和41年度 公共下水道の整備着手

昭和48年度 霞ヶ浦湖北流域下水道の流域関連公共下水道に変更

平成21年度 全体計画変更（計画期間は令和7年度まで。計画面積 6,017.2ha）

平成28年度 事業計画変更（期間の延伸）

令和4年度 事業計画変更（期間の延伸 令和10年まで）

【今年度事業内容】

- ・管渠整備工事（補助分） L=959m
- ・管渠整備工事（単独分） L=928m

【今後の予定】

令和5年3月末現在の事業計画区域面積に対する整備率は83.2%であり、引き続き、未整備地区（手野町・田村町・沖宿町・右叅地区等）の整備を進めます。



沖宿町地内 汚水管渠整備状況

期待される効果・成果目標等

市民の生活環境の向上と公共用水域の水質保全に寄与します。

※目標：令和14年度末人口普及率 93.6%

令和5年3月末現在の本市の人口普及率 88.2%

参考：全国平均 80.9%、茨城県平均 65.0%

款	資本的支出	項	建設改良費
---	-------	---	-------

事業名	公共下水道雨水排水路整備事業 (継続)	担当	建設部 下水道課
-----	---------------------	----	-------------

(単位：千円)

予算額		919,059	リーディング プロジェクト	—
財 源 内 訳	国県支出金	420,340	基本目標	4 全ての市民が安心して暮らせるまちづくり
	地方債	497,200		
	その他		政策方針	5 激甚化する水害に対応するまちづくり
	一般財源	1,519		
全体事業費		919,059	事業期間	令和6年度

事業の目的

市街化の進展に伴う降雨時の家屋・道路等の浸水被害（冠水）の解消を図ります。

事業の概要

◎木田余1号雨水幹線整備事業

【これまでの経緯】

- ・ J R 常磐線横断工事委託
※平成25年度～平成29年度 債務負担行為設定
- ・ 排水路整備工事

【今年度事業内容】

- ・ 木田余ポンプ場 ポンプ設置工事（令和6年度～令和8年度）

【今後の予定】

- ・ 排水路整備工事 L=150m

◎神立菅谷雨水幹線整備事業

【これまでの経緯】

- ・ 平成25年度に事業認可を受けた「神立菅谷雨水幹線」について雨水幹線及び調整池整備工事を実施

【今年度事業内容】

- ・ 排水路整備工事 □3,400mm×2,100mm L=50m
- ・ 調整池整備工事（残土搬出）

【今後の予定】

- ・ 雨水幹線及び調整池整備工事



神立菅谷雨水幹線整備状況

期待される効果・成果目標等

大雨による浸水被害が減少し、市民の生活環境の向上に寄与します。

款別主要事業一覧表

事 業	頁
総務費	
土浦市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定事業	20
水郷筑波サイクリング環境整備事業	21
公共施設等再編・再配置推進事業	22
新公共施設予約システム導入事業	23
地域公民館整備事業	24
自転車乗車用ヘルメット購入費補助事業	25
ふるさと土浦応援寄附事業	26
民生費	
こども計画策定事業	27
子育て世帯訪問支援事業	28
児童手当支給事業	29
公立保育所民間活力導入事業	30
衛生費	
各種予防接種事業(子宮頸がん予防接種)	31
1か月児健康診査支援事業	32
清掃センターごみクレーン外整備事業	33
農林水産業費	
土浦ブランドアッププロジェクト推進事業	34
日本一のれんこん産地推進事業	35
畑地帯総合整備事業(虫掛地区)	36
かんがい排水事業(木田余地区)	37
商工費	
土浦全国花火競技大会開催事業	38
土木費	
橋梁耐震対策・長寿命化修繕事業	39
道路新設改良事業	40
都市下水路整備事業／小規模排水路整備事業	41
地域公共交通確保維持改善事業	42
地域地区等調査事業	43
開発候補地調査検討事業	44

事 業		頁
土 木 費		
スマートインターチェンジ整備事業		45
インターチェンジ周辺地区土地利用促進事業		46
田村沖宿線延伸道路整備事業		47
荒川沖木田余線(Ⅱ期)整備事業		48
木田余神立線街路事業(Ⅱ期)		49
都市公園等長寿命化事業		50
川口ショッピングモール歩行空間再構築事業		51
まちなか定住促進支援事業		52
中心市街地まちなか再生事業		53
住生活基本計画策定及び公営住宅等長寿命化計画見直し事業		54
消 防 費		
警防救急事業		55
救助資器材整備事業		56
救急資器材整備事業		57
常備消防車両更新事業		58
教 育 費		
教育相談室管理運営事業		59
地域スポーツ・文化クラブ運営事業		60
上大津地区統合小学校整備事業		61
小学校・中学校長寿命化改良事業		62
家庭教育支援事業		63
コミュニティ・スクール推進事業		64
指定文化財等管理事業		65
文化財整備・活用事業		66
上高津貝塚長寿命化改良事業		67
上高津貝塚再整備事業		68
重要資料公開推進事業		69
図書館サービス推進事業		70
小学校口腔衛生推進事業		71
特 別 会 計 ・ 企 業 会 計		
高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業		73
配水管施設整備事業／老朽管更新事業		74

事業		頁
特別会計・企業会計		
公共下水道(汚水)整備事業		75
公共下水道雨水排水路整備事業		76



©土浦市